

写真のマスクについては基本的には着用とし熱中症予防のため外すときがあります 代表質問

## 「明日のおおむた」に向けた事業の展開を



### 2020 年度当初予算や アクションプログラム における特色的な事業

**問** 今後 4 年間の市長の手腕をはかる第一歩が、第 6 次総合計画のアクションプログラムや 2020 年度予算だと思ふ。  
市長としての 2020 年度当初予算や第 6 次総合計画アクションプログラムにおける特色的な事業を聞きたい。

**答** 「若者が夢を持って働くまちづくり」においては、製造業等をはじめ多様な産業の誘致を図るための取組、「子育て世代に魅力的なまちづくり」においては、安心して子育てができる環境づくりの取組、「安心して元気に暮らせるまちづくり」においては、高齢者にいつまでも元気で自立した日常生活を継続していただくための取組など、三つのまちづくりに向けた施策をできる限り反映している。

現在、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、一部事業の開始が遅れているが、感染状況を十分注視しながら事業の進捗を図っていく。

**再発言** 今後も厳しい行財政状況であると思うが、市長を

先頭に、住んでよかった、住みたいまち、明日の大牟田づくりと、みんなが笑顔で安心して働き、豊かな生活を送ることができる「ふるさとおおむた」に向けて、取組を推進するよう要望する。

### 新型コロナウイルス感染症 対策の現状と課題

**問** 市長においては、これからも安全・安心のまちづくり、市民が安心して元気に暮らせるまちづくり、市民に信頼されるまちづくりに向けての市政運営と、新型コロナウイルス感染拡大防止と経済対策などの取組をしっかりと取り組んでもらいたいと思う。

新型コロナウイルス感染症対策の現状と課題について聞きたい。

**答** 現在、感染拡大防止や市民生活、事業活動などの様々な支援策について全力で取り組んでいる。

今後は、新型コロナウイルス感染症と向き合いながら、市民の生活を守ること、事業者の事業継続や雇用を守ることが最も重要であり、緊急対策と併せ、新しい生活様式へつながる取組の推進を図る。

今後とも、安全・安心で安定した生活を一日でも早く取り戻せるよう、市民や事業者とも理解と協力を得ながら精

いっぱい取り組んでいく。

### 感染症対策を含めた 今後の避難所運営

**問** 本市も、5 月 28 日に、新型コロナウイルス感染防止を念頭に置いた災害時の避難所運営方針がまとめられた。

今後の避難所の在り方についても感染症対策を含めたものとならざるを得ないと思う。

感染症対策を含めた今後の避難所運営を聞きたい。

**答** 避難所の運営については、受付時に検温と感染評価シートによる問診を行い、発熱などの症状がある方と一般の避難者では、避難スペースやトイレを完全に分けて受け入れるようにする。

避難者には必ずマスクを着用していただき、段ボールベッドや間仕切りを活用して避難者間の距離が密接にならないようにするとともに、定期的な換気や消毒を実施したい。

**再発言** 今後は、ハザードマップを活用した防災訓練や避難経路の確認、確保なども必要になってくると思う。

市民の安全・安心、生命と財産、生活を守る取組と、感染症対策を含めた今後の防災計画や避難所機能強化に向けた対応、対策を図りたい。



(避難所設置訓練の様子)